

◆浅利浩之

論文 荻野茂二寄贈フィルム目録／『東京国立近代美術館 研究紀要』第18号

◆入江良郎

論文 吉澤商店主・河浦謙一の足跡(1) 吉澤商店の誕生／『東京国立近代美術館 研究紀要』第18号

論文 山田洋次監督インタビュー(山田映画と撮影所の伝統)／NFCニューズレター第112号

論文 『早稲田大学演劇映像学連携研究拠点テーマ研究「演劇博物館所蔵映画フィルムの調査、目録整備と保存活用」(平成21年度～25年度)成果報告』／(早稲田大学演劇映像学連携研究拠点テーマ研究、平成26年2月)

発表 吉澤商店主・河浦謙一の足跡をたどる／日本映像学会 映画文献資料研究会(会場：日本大学芸術学部、平成25年7月6日)

発表 調査研究プロジェクト「演劇博物館所蔵映画フィルムの調査、目録整備と保存活用」について／研究講演会「早稲田大学演劇博物館の映画コレクション」(会場：フィルムセンター大ホール、平成25年11月2日)

◆岡島尚志

論文 永遠のフィルム／フィルムの永遠／NFCニューズレター第109号

論文 『家族』『故郷』『同胞』——1970年代の映画の挑戦／NFCニューズレター第112号

論文 フィルム生産縮小時代の映画保存——“フジ・ショック”後のフィルム・アーカイブ／日本映像学会報No.164(日本映像学会、平成25年10月)

論文 A Love Letter to Film／Journal of Film Preservation, No.89(FIAF、平成25年11月)

論文 『東京物語』——家族のこころを描く日本映画の至宝／東京物語(松竹・南座、平成25年7月)

発表 Film Archives After Film／国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)(会場：フィルモテカ・デ・カタルーニャ(バルセロナ)、平成25年4月24日)

発表 フィルム生産縮小時代の映画保存——“フジ・ショック”後のフィルム・アーカイブ／日本映像学会(会場：東京造形大学、平成25年6月1日)

発表 映画保存の今後——世界と日本のフィルム・アーカイブの立場から——映画の復元と保存に関するワークショップ(会場：京都文化博物館、平成25年8月24日)

発表 映像遺産の保存と活用——相模原市関連の古い映像を見ながら／相模原市公開講座(会場：フィルムセンター相模原分館、平成25年9月27日)

発表 デジタル時代の映画保存——問題の整理——／映画産業団体連合会(映画連)セミナー(会場：六本木ヒルズ・オーディトリウム、平成25年10月22日)

発表 『その夜の妻』——若き日の小津安二郎、シンポジウム／ベルリン国際映画祭(会場：シネマックス8(ベルリン)、平成26年2月8日)

発表 世界のフィルム・アーカイブ／シネマテーク——その新たな動きと求められる人材／2013年度アート・マネージャー養成講座「シネマ・マネジメント・ワークショップ」(会場：映画美学校、平成26年3月4日)

◆岡田秀則

論文 映画よ、凍れ／NFCニューズレター第108号

和田誠氏との対談「ポスターを作る人」になりたかった。／NFCニューズレター第110号

論文 動く前に、止める—これからの小津安二郎論のために／NFCニューズレター第112号

論文 Nitrate Film Production in Japan : a Historical Background of the Early Days
／The Oxford Handbook of Japanese Cinema (Oxford University Press、平成26年1月)

論文 日本映画社ジャカルタ製作所の活動について／「演劇博物館所蔵映画フィルムの調査、目録整備と保存活用」(早稲田大学演劇映像学連携研究拠点テーマ研究、平成26年2月)

論文 逆立ちする映画、存在しない果実の汁／「視る」(京都国立近代美術館、平成26年2月)

論文 日本の映画ポスター文化と野口久光の芸術／Hisamitsu Noguchi The Graphic Works (開発社、平成26年3月)

展覧会カタログ 映画作品解説／「チェコの映画ポスター」展

発表 震災をめぐるドキュメンタリー映画のアーカイブ(三浦哲哉、松山秀明氏との鼎談)／山形国際ドキュメンタリー映画祭(会場：山形美術館、平成25年10月13日)

発表 日本映画社ジャカルタ製作所の活動について／研究講演会「早稲田大学演劇博物館の映画コレクション」(会場：フィルムセンター・大ホール、平成25年11月2日)

◆大澤浄

論文 映画というのは自己完結するものではない(下) 崔洋一監督インタビュー[聞き手・構成]／NFCニューズレター第108号

論文 「清水宏の映画宇宙」、「清水宏フィルモグラフィー」／NFCニューズレター第109号

論文 マルチバージョンとメタデータ標準規格／NFCニューズレター第110号

論文 「生誕110年 映画監督 清水宏」 宋桓昌氏(『ともだち』主演)インタビュー 清水監督は、私にとっては隣近所の気立てのいいおじさんのようでした。／NFCニューズレター第111号

論文 大森一樹監督インタビュー(上)「8mmは世界を変えるかも?」と思っ
てましたね。[聞き手]／NFCニューズレター第113号

論文 Archiving Disaster : Multiple Versions of Documentary Films about the Great
Kanto Earthquake／Journal of Film Preservation, No. 89 (FIAP、平成25年11月)

論文 寅次郎の「ディグニティ」——『男はつらいよ フーテンの寅』準備稿覚
書／森崎東覚宣言!(インスクリプト、平成25年11月)

◆大傍正規

論文 「Memory!第一回国際映画遺産フェスティバル」報告 映画遺産ゼロ
からの出発／NFCニューズレター第110号

論文 『くじら』『幽霊船』のデジタル復元—デジタル時代に向けた「ハイブ
リッド型」復元ワークフローの構築／NFCニューズレター第112号

論文 「仏・露・日における無声映画の音—初期フランス映画の受容研究」
(博士論文)／(京都大学人間・環境学研究科、平成25年7月)

論文 「越境するスターダム—帝政期ロシアと日本におけるマックス・ランデーの受容」／堀潤之・菅原慶乃編『越境の映画史』（関西大学出版部、平成26年3月）

発表 Restoration of *Kujira* and *Yuweisen* / Memory!第一回国際映画遺産フェスティバル(会場：ポファナセンター(プノンペン)、平成25年6月5日)

発表 仏・露・日における無声映画の音—初期フランス映画の受容研究／博士論文公聴会(会場：京都大学人間・環境学研究科、平成25年6月20日)

発表 政岡憲三『くもとちゅうりっぷ』大藤信郎『くじら』『幽霊船』レストア報告／東京国際映画祭「日本アニメーションの先駆者(パイオニア)たち～デジタル復元された名作」(会場：シネマート六本木、平成25年10月19日)

◆郷田真理子

論文 東京国立近代美術館フィルムセンターにおける個人寄贈の小型映画フィルムの保存と活用について／平成25年度アーカイブズ・カレッジ(史料管理学研修会)短期コース(主催：国文学研究資料館)

◆佐々木淳

論文 大森一樹監督インタビュー(上)「8mmは世界を変えるかも？」と思ってましたね。[聞き手・構成]／NFCニューズレター第113号

◆佐崎順昭

論文 小津安二郎、絵画とデザイン、その拡がりへ向けて(上)／NFCニューズレター第112号

論文 小津安二郎、絵画とデザイン、その拡がりへ向けて(下)／NFCニューズレター第113号

論文 「映画公社関係資料」解題／東京国立近代美術館フィルムセンター監修『映画公社旧蔵 戦時統制下映画資料集』第1巻(ゆまに書房、平成26年1月)

論文 「映画配給社資料」解題／東京国立近代美術館フィルムセンター監修『映画公社旧蔵 戦時統制下映画資料集』第2巻(ゆまに書房、平成26年1月)

論文 「大日本活動写真協会調査月報Ⅰ」解題／東京国立近代美術館フィルムセンター監修『映画公社旧蔵 戦時統制下映画資料集』第3巻(ゆまに書房、平成26年1月)

論文 「大日本活動写真協会調査月報Ⅱ」解題／東京国立近代美術館フィルムセンター監修『映画公社旧蔵 戦時統制下映画資料集』第4巻(ゆまに書房、平成26年1月)

◆笹沼真理子

論文 東京国立近代美術館フィルムセンターにおける所蔵雑誌の保存と公開／平成25年度アーカイブズ・カレッジ(史料管理学研修会)短期コース(主催：国文学研究資料館)

◆榎本章(筆名及び発表者名「とちぎあきら」)

論文 復元を通して、映画フィルムを知る／熱風(株式会社スタジオ・ジブリ、平成25年4月)

論文 映像とテキストでよみがえる『朝日世界ニュース』／朝日動画社ニュース映画と朝日新聞(朝日新聞社、平成25年7月)

論文 映画祭の「いま」が映画保存の「あした」を支える／大分合同新聞(平成25年8月)

発表 東京国立近代美術館フィルムセンターにおける映画フィルムの長期保管／日本新聞協会新聞マイクロ懇話会（会場：日本新聞協会、平成25年6月27日）

発表 記録映画の保存と活用を考える／第16回ゆふいん文化・記録映画祭（会場：湯布院公民館、平成25年6月30日）

発表 公共上映における映写機器等の現状と課題 優秀映画鑑賞推進事業を事例として／全国コミュニティシネマ会議2013 in 浜松（会場：クリエート浜松、平成25年9月7日）

発表 デジタル時代の映画保存の在り方について／日本映画界の現状 映画団連セミナー（会場：六本木ヒルズ・オーデトリウム平成25年10月22日）

発表 映画のいろ、小津のいろ／JR東日本 大人の休日倶楽部 趣味の会（会場：ステーションコンファレンス万世橋、平成25年11月13日）

発表 映像アート作品のアーカイブについて（発表と西村智弘氏とのディスカッション）／日本映像学会 アナログメディア研究会（会場：阿佐ヶ谷美術専門学校、平成26年1月18日）

発表 データベースから見るフィルム・アーカイブの保存と上映／2013年度映像アート・マネージャー養成講座「シネマ・マネジメント・ワークショップ」（会場：映画美学校、平成26年1月28日）

発表 Fシネマ・プロジェクトフィルム上映を考える（岩崎ゆう子氏、樋口泰人氏とのパネル・ディスカッション）／恵比寿映像祭（会場：東京都写真美術館、平成26年2月16日）

発表 蘇ったフィルムたち 東京国立近代美術館フィルムセンター復元作品特集（三浦和巳氏とのトーク・イベント）／川崎市市民ミュージアム（会場：川崎市市民ミュージアム、平成26年2月22日）

◆朴美和

論文 国立近代美術館フィルムセンターにおけるスチル資料の保管と今後の課題について／平成25年度アーカイブズ・カレッジ（史料管理学研修会）短期コース（主催：国文学研究資料館）

◆濱口幸一

論文 ナショナル・フィルモグラフィへ向けて——日本映画作品目録の紹介と比較——／NFCニューズレター第111号

◆宮澤愛

論文 映画フィルムのネガに付随する鑽孔テープの記録内容を解読する／平成25年度アーカイブズ・カレッジ（史料管理学研修会）短期コース（主催：国文学研究資料館）